とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0280
施設名	打越保育園
施設所在地	東京都八王子市長沼町793
法人名	社会福祉法人　打越保育園

１．活動のテーマ

＜テーマ＞

食育

＜テーマの設定理由＞

（テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など）

食を営む力の育成のための基礎を培い、豊かな食生活ができるようにする為。

２．活動スケジュール

11月10日（月）打ち合わせ

11月26日（水）鮭の解体　対象：5歳児クラス／見学：0～４歳児クラス

３．活動のために準備した素材や道具、環境の設定

（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具）

・司会担当：つばめ組職員　写真担当：かなりや組職員

　火の管理担当：事務所職員　骨抜き担当：各クラス職員１名ずつ

・5歳児クラスの保育室にて、マイク・まな板・ダスター・出刃包丁・骨抜き・バット・ボウル・ごみ袋・コロナテープ・はさみ・養生テープ・手袋・食育教材等を準備して鮭の解体を行った。活動中は、子ども達を５つのグループに分け、グループごとに鮭のクイズ・観察・パズル・はてなボックスを体験した。その後園庭にて、鉄板・中心温度計・アルミホイル・軍手・スプーン・食器・レードル・段ボール等を準備して、ちゃんちゃん焼き作りを見学した。解体中やちゃんちゃん焼き作り中は安全に配慮し、手が触れない距離を保って観察してもらった。

４．探究活動の実践

＜活動の内容＞

・鮭のクイズ、観察、パズル、はてなボックスを体験
・鮭の解体の見学
・ちゃんちゃん焼き作りの見学
・3色のグループについてのお話
・いただきます、ごちそうさまについてのお話

＜活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり＞

（活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等）
①鮭のクイズ、観察、パズル、はてなボックス
「鮭も鼻があるの？」「冷たくてぬるっとしてる」「背中は硬い」「お腹は柔らかい」
「鮭のエサはクラゲだと思う」「赤ちゃんからこんなに大きくなったの？」
「いくらはお寿司で食べるよ」「もう動かないの？」
②鮭の解体
「骨が切れた」「血がある」「最後まで頑張って食べるからね」
③ちゃんちゃん焼き作りの見学　「いいにおい」「早く食べたい」

①

②

③

５．振り返り

＜振り返りによって得た先生の気づき＞

普段触れる機会の少ない大きな魚に直接触れ、子ども達の五感が刺激されている様子が伺えた。命の食育に結び付くよう、鮭と自分の身体を比較できる声掛けをすると、解体時に内臓が見えた際には、自分のお腹を触る仕草が見られ、鮭にもみんなと同じ命がある生き物であることを感じ取る姿があった。ちゃんちゃん焼き作りでは、目の前で調理の様子を見学し、音や香り、色の変化を体験することが出来た。今回の体験を通して、普段食べているものにも命があることを知り、食材や調理をする人への感謝の気持ちを深められた。出来立てのちゃんちゃん焼きは全クラスとても進みが良かった。